

2018年2月15日

第56号

全労連



全労連
憲法・平和グループ

憲法 平和闘争ニュース

青年の意見を聞く中で、自分の今の思いを 認識したり、考えが深まったりする！！

2月14日、寒風が吹きすさぶ国会前で今国会2回目の定例昼休み国会行動が行われました。全教を代表し市塚絢子中央執行委員(青年部事務局長)が、青年教職員が憲法3000万署名に取り組む姿と、その思いを決意表明しました(抜粋)。

全教青年部 青年に憲法を広めよう シールアンケートで、署名で…

今年度、「青年教職員の中に憲法を広めよう」とりくみを進めてきました。その一つとして昨年12月に行った「憲法3000万署名」の青年部街頭宣伝のことをお話したいと思います。

自分たちだけで企画する街頭宣伝は初めてでした。「どこでやったらいいの?」「許可や申請は必要なの?」「どんなものを持っていったらいいの?」などなど、やってみようと思って初めて、分からないことがたくさんあることに気づきました。

ちょうど神奈川で青年部の集会があったので、「集会の参加者に一緒に参加してもらおう」とその会場近くでやることに決めました。神奈川の組合に連絡し、署名や宣伝がやりやすい場所を教えてくださいました。「ハンドマイクでスピーチしたい」と相談したら、集会の会場までハンドマイクを持ってきてくれました。私たちの思いに快く応えていただき、本当に有難いです。対話しながら、楽しくやりたいとシールアンケートのボードも用意しました。



当日の街頭宣伝には、集会参加者も含めて10人の青年が集まり、30分間の宣伝で46人と対話ができました。「9条を変えないほうがいい」「急ぐ必要はない」を選んだ人は39人でした。ここで、街頭宣伝自体が初参加だった2名の青年の感想を紹介します。

自分が反対することは微力だけれど…戦争しないために署名は必要なこと!

一人は特別支援学校の教員です。「シールは対話しやすいし意思表示もしてくれるからいいと思う。『9条変えた方がいい』と言われた時は、ドキッとした。なかなか署名はしてくれなくてつらかった。でも、誰かがやらなきゃいけない、戦争しないために必要なことだと思った。自分が反対することは微力だけど反対しているという意思表示になる。この宣伝を企画した人はすごい。自分も協力しないと…と思った」。もう一人は、小学校教員です。「自分は9条を絶対変えないという気持ちに確信が持てなかった。今ももやもやはっきりしない。だから行動していいのか…という迷いがある。今回は賛成・反対、多様な意見が聞けて良かった。一緒にシールアンケートをした Tさんは自分と違う意見でもすべて受け入れて聞いていた。『9条変える』にシールを貼る人にも『そうですよね』って、まずは受け入れる。人の意見を聞くって人間性だなーと思った。選挙なども、考えていても状況で迷ってしまう。どこに自分を置いたらいいか分からない。だから、いろいろな人の意見を聞きたいと思う」。この2名の青年の率直な感想をどう受け止めていくかが、この署名を広めていくために大事なことだと私は思います。「若者が右翼化している」とか「関心がない」とか時々聞きます。でも、本当に自分の身近にいる青年が何を考えているかは、聞いてみないと分かりません。街頭宣伝は勇気があるけれど様々な意見を聞く場になります。そして、宣伝をする側も相手の意見を聞く中で、自分の今の思いを認識したり考えが深まったりすることも実感しました。

9条を守るとりくみはとても大事です。でも、意見を一方的に押し付けるだけではなかなか広がりません。相手の声を受け止め自分の思いも伝えることが対話の糸口になる、今回のとりくみを通して感じました。

「教え子を戦場に送らない」が、私たちの組合のスローガンです。「憲法9条」に対しての意見は様々あると思いますが、「自分たちが関わってきた子どもたちが、戦争で命を落とすような社会にはしたくない」、その思いはすべての教職員に共通するものだと思います。それを信じて、「憲法3000万署名」をひろげるとりくみに、また一歩踏み出していきたいと思います。

埼玉県大運動実行委員会を代表して、埼玉土建の戸田武治次世代対策部長も3000万署名の決意表明を行いました。紹介します(抜粋)。

埼玉土建

戦争法廃止をめざす総がかり行動実行委員会が呼びかけた「安倍9条改憲NO! 3000万人署名」を埼玉土建は、組織の5倍・35万人分を集めることを目標に、昨年10月から取り組みを開始していました(埼玉土建33支部・346分会・3426班)。

そのため、まずは署名用紙20万枚・100万人分印刷し、半分の10万枚は20枚を1セットの冊子にし土建独自に作成、50筆や100筆集める「署名レンジャー」を仲間に提起し署名レンジャーを募集、現在50筆、100筆の達成めざし奮闘しています。全県33支部で2214人の仲間が署名レンジャーにチャレンジを決意しており、すでに100筆以上を集めた仲間は222人。埼玉土建全体で集めた署名は1月末現在10万392筆です。これまでも自分の言葉で憲法を語れる仲間をつくろうと、憲法パンフや機関紙を使って学習を重ね、1月は「9条改憲って何？」の憲法共同センター作成の学習用DVDも支部に配布し学習を積み重ねています。

10月から始まった署名行動では、署名レンジャーの仲間登録をめざし支部で署名レンジャーへの組織が始まりました。川口支部では署名レンジャー班1人以上めざし、11月末日までに50筆・100筆達成した仲間に「スピード達成賞」を進呈。宮代支部は署名チャレンジ150人目標を提起し、4月までに50筆集めた仲間に憲法手ぬぐい、100筆集めた仲間にクオカードを進呈。次世代の仲間も奮闘しています。私も消防団の仲間等に訴えて100筆達成。5倍目標達成には、組織外に署名を広げる事が最大ポイント。5月3日の憲法記念日が3000万署名の一区切りの最終集約です。掲げた目標突破へ各支部へ配布したDVD「9条改憲って何？」の視聴もすすめ、宣伝行動・仲間との対話など、5倍目標達成に向けて奮闘していきます。

2月26日に埼玉総行動実行委員会主催で埼玉大集会を中野晃一さんを招いておこないます。26日までが50%の節目です。節目達成へ奮闘していきます。

文京区「3000万人署名・地域ローラー作戦」に全労連本部が参加 空き家の増加を実感しながら「戦争だけはイヤだ」の対話に感動

2月10日、文京区で「3000万人署名地域ローラー作戦」にとりくみました。全労連本部から5人が参加し、全労連会館に集う「日本美術会」の皆さんや民医連の皆さんと一緒に21人で行動しました。

ハンドマイク宣伝一隊と、署名8グループに分かれてほぼ一時間の行動で、署名は52人の方から寄せられハンドマイク隊には「頑張って!」と稲荷ずしとお赤飯のお結びの差し入れが届けられました。本郷とは言え、やはり空き家も多く、ルスも多く、「憲法9条を守る署名を願いに来ました」とインターホンでお話すると「結構です」とか「わからない」という返事も。でも、お話しできたところでは、対話がはずみました。

「東京大空襲で、あそこの通りから向こうが焼けたんだよ。何とか命拾いしたけど、怖かったよ。私は、避難先でまた空襲にあってね。もう、コリゴリだ。戦争が終わってからも食糧難が大変でね・・・」と、戦争体験を語ってくださった86歳の男性は、「もう、戦争だけはイヤだよ。政治をやってる人は、戦争のひどさを知らないんだよ」と、しっかりとした字で署名してくれました。洗濯物をうまく干せずに困っていたおばあちゃんに、物干しを手伝いながら署名のお話しをすると、長〜い人生のお話しとともに福祉への要求を語ってくれました。40代の男性は「安倍さんの政治をどう思いますか」と聞くと、「まずは経済! 何とかしてほしいよ」と言いながら、署名してくれました。「読んで考えてみるよ」と署名用紙を預かってくれたお宅もあり、署名とともに、住民の皆さんの願いをずっしりともらった行動でした。



参院憲法審査会 21日開催! 傍聴者を募集しています!

参議院憲法審査会は14日の幹事懇談会で、来週21日に今の国会で初めてとなる審査会を開き、憲法に対する考え方について、各会派の自由討議を行うことを決めました。

幹事懇談会の中で、このことを自民党が提案したのに対して、共産党と社民党は「改憲につながるような審査会は開くべきではない」と主張しましたが、最終的に21日に自由討議を行うことを決めたものです。傍聴者を募集しています(20日17時までにお願います)。

